

住人十色

第 151 回

暮らすように旅ができる町へ—— 新しい観光協会事務局長の挑戦

寺園 浩昭さん(61) 〓松山市〓



◎勤務先のビジターセンターで「観光振興の助言をする仕事など以前から内子と縁があり、事務局長に挑戦したいと思った」と話す寺園さん。

「内子町を来訪者の行きつけの田舎にしたい」と語る寺園浩昭さん。全日本空輸(株)(ANA)松山支店長や(株)あいテレビ営業局長などを経て、4月1日から内子町観光協会事務局長に就任しました。

支店長時代から内子町に興味があり、内子座での『フラメンコ曾根崎心中』の公演を企画したこともあります。「都会から時間的距離が近いすてきな田舎。ここの日常に共感し、人々の温かさに触れることで、また来たいと思える。農林業体験も潜在力が高くて魅力的」と目を輝かせる寺園さん。町のすてきなところを発信するため、「ラジオ番組や移動式サウナ、小田深山の自然を楽しむ拠点づくりなど、やりたいことが山ほどある」と思いがあふれます。

趣味は自転車で、早くこの町に溶け込むために町内を走り回っているそうです。「私がやりたいのは単なる観光ではない。内子の営みの素晴らしさを知ってもらい、農村景観や伝統的な産業・技術を守る仕掛けをつくりたい。そのためには町の皆さんの協力が必要。自転車で乗った見知らぬおじさんから、信頼される観光協会の寺園になれるよう、力を尽くしたい」とユーモアを交えながら、意気込みを語ってくれました。

編集 幸記

▽4月から広報担当になりました山田史郎(しろう)です。町の皆さんにとって身近な読み物『広報うちこ』。その制作に関われることをうれしく思います。「内子だからできる広報紙」を目指して、頑張る皆さんの姿を伝えるお手伝いがしたいです(史)

▽先日、眠れぬ夜を過ごしました——。歯が痛くて。その後1週間、離乳食のような食事をし、歯の大切さが身に染みしました。虫歯も早期治療が重要ですね。けがの功名で瘦せたけど、リバウンドだけは素早いなあ(裕)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

